



刊夕日一十 (11th Day of the 10th Month)

露獨單獨講和せば

經濟的復讐手段を執らん

休戦と獨逸の主張

モーン、サンデー島撤兵問題

獨逸の對露協議

獨逸は對露協定を...

土地財産國有

土地財産を...

對過激派反對運動

カ、コ兩將軍、莫斯科を...

無職業者四萬人

露都の無職業者...

葡軍革命黨激戰

葡都の葡軍革命黨...

南苑飛行隊出征

南苑飛行隊出征...

王師長獨立宣言

王師長獨立宣言...

露外債廢棄と日本

日本の引受額二億五千八百萬圓...

新上將行出發

支那駐屯軍司令官...

留學生渡日

留學生渡日...

Table with 2 columns: 支店 (Branch) and 金額 (Amount). Lists various branches and their corresponding amounts.

影響如何

某銀行家談

殺類運賃の引下

日露通商手帳上の利益多し

米大統領教書

對獨逸の意を論ず

獨逸の對露誘惑

獨逸の對露誘惑...

未會有の大事業

未會有の大事業...

Table with 2 columns: 支店 (Branch) and 金額 (Amount). Lists various branches and their corresponding amounts.

影響如何

某銀行家談

殺類運賃の引下

日露通商手帳上の利益多し

米大統領教書

對獨逸の意を論ず

獨逸の對露誘惑

獨逸の對露誘惑...

未會有の大事業

未會有の大事業...

Table with 2 columns: 支店 (Branch) and 金額 (Amount). Lists various branches and their corresponding amounts.

影響如何

某銀行家談

殺類運賃の引下

日露通商手帳上の利益多し

米大統領教書

對獨逸の意を論ず

獨逸の對露誘惑

獨逸の對露誘惑...

未會有の大事業

未會有の大事業...

Table with 2 columns: 支店 (Branch) and 金額 (Amount). Lists various branches and their corresponding amounts.

影響如何

某銀行家談

殺類運賃の引下

日露通商手帳上の利益多し

米大統領教書

對獨逸の意を論ず

獨逸の對露誘惑

獨逸の對露誘惑...

未會有の大事業

未會有の大事業...

Table with 2 columns: 支店 (Branch) and 金額 (Amount). Lists various branches and their corresponding amounts.

影響如何

某銀行家談

殺類運賃の引下

日露通商手帳上の利益多し

米大統領教書

對獨逸の意を論ず

獨逸の對露誘惑

獨逸の對露誘惑...

未會有の大事業

未會有の大事業...

Table with 2 columns: 支店 (Branch) and 金額 (Amount). Lists various branches and their corresponding amounts.

影響如何

某銀行家談

殺類運賃の引下

日露通商手帳上の利益多し

米大統領教書

對獨逸の意を論ず

獨逸の對露誘惑

獨逸の對露誘惑...

未會有の大事業

未會有の大事業...

Table with 2 columns: 支店 (Branch) and 金額 (Amount). Lists various branches and their corresponding amounts.

影響如何

某銀行家談

殺類運賃の引下

日露通商手帳上の利益多し

米大統領教書

對獨逸の意を論ず

獨逸の對露誘惑

獨逸の對露誘惑...

未會有の大事業

未會有の大事業...

仁川米豆取引所
大坂米取引所
仁川米豆取引所
大坂米取引所
仁川米豆取引所
大坂米取引所

幣制統一と日支親善

支那銀行本位から金貨本位へ
藤原文氏談

支那銀行本位から金貨本位へ
藤原文氏談
支那銀行本位から金貨本位へ
藤原文氏談
支那銀行本位から金貨本位へ
藤原文氏談

密接な関係

支那銀行本位から金貨本位へ
藤原文氏談

密接な関係

支那銀行本位から金貨本位へ
藤原文氏談

密接な関係

支那銀行本位から金貨本位へ
藤原文氏談

密接な関係

支那銀行本位から金貨本位へ
藤原文氏談

密接な関係

支那銀行本位から金貨本位へ
藤原文氏談

密接な関係

支那銀行本位から金貨本位へ
藤原文氏談

密接な関係

支那銀行本位から金貨本位へ
藤原文氏談

密接な関係

支那銀行本位から金貨本位へ
藤原文氏談

密接な関係

支那銀行本位から金貨本位へ
藤原文氏談
支那銀行本位から金貨本位へ
藤原文氏談
支那銀行本位から金貨本位へ
藤原文氏談

米国の豆油

禁輸と大連

禁輸と大連
米国の豆油
禁輸と大連
米国の豆油
禁輸と大連
米国の豆油

米国の豆油

禁輸と大連

米国の豆油

禁輸と大連

米国の豆油

禁輸と大連

米国の豆油

禁輸と大連

米国の豆油

禁輸と大連

米国の豆油

禁輸と大連

米国の豆油

禁輸と大連

米国の豆油

禁輸と大連

米国の豆油

品名	数量	単価	合計
大豆	1000	1.50	1500
豆油	500	3.00	1500
...

米国の豆油

禁輸と大連

禁輸と大連
米国の豆油
禁輸と大連
米国の豆油
禁輸と大連
米国の豆油

米国の豆油

禁輸と大連

米国の豆油

禁輸と大連

米国の豆油

禁輸と大連

米国の豆油

禁輸と大連

米国の豆油

禁輸と大連

米国の豆油

禁輸と大連

米国の豆油

禁輸と大連

米国の豆油

禁輸と大連

米国の豆油

胃病に効く

コル

胃病に効く
コル
胃病に効く
コル

梅毒有診断液

梅毒有診断液
梅毒有診断液
梅毒有診断液
梅毒有診断液

蜂印香露葡萄酒

蜂印香露葡萄酒
蜂印香露葡萄酒
蜂印香露葡萄酒
蜂印香露葡萄酒

銘酒一鶴發賣元

銘酒一鶴發賣元
銘酒一鶴發賣元
銘酒一鶴發賣元
銘酒一鶴發賣元

支那漫遊

蘇峰生

焦山

遊湖君、遊湖す可きは、佳月、其の遊湖は、乃ち、速流也。行時、
風の驟急を興へられたる舟、是處と突したる予等は、正しく、是時
若し、船定の短く、十日午後鐘、の音を突せざる可らざる也。
の汽船に乘らば、到底其望を、方は、早月、江中を回轉せり。
船はさりと也。されど、延期の、稍、舟に近づけ、堤上より網にて、
は、翌年十一月午後鐘の汽船、挽き行かんとなれば、網は、舟、
上海に越ぐ可しとなし。午、謝せり。乗車の定時は、船を、

向を投じて置きたる者ありて、
 西に於ける日本人を代表するに
 足さし。恥して置て歸はるるに
 最も善く利用せられつゝも
 が如し。
 宗義老帥一行と、子等の
 男勝村義興氏郎にて
 師は今朝解纜の船に
 より推定して必らず支那旅順
 へ模せしならんことを、何
 ば其節の太田中將が、
 大青島なし、去れば露艦の先
 代に當する境臺は漢城以外に
 可き艦なし、併し支那に代
 はるくに表するに諒を以てす
 云、其境を起せしは先導船の

[illegible]

の瞬間を利用して、鎮江に出張來れり。此に於て一同上陸、直ち
 清江艦の中艙姦姦夫婦を誘に長江の岸に沿うて徒歩し、廿餘年
 相ひ住うて支那艦を廢ひ、順々の荒を過ぎ鎮江に著したるは、
 流、一艘既に往山の麓に、午行三時にして、辛くも午後四時
 るは、十一月十一日午前九時、舟の長江沿岸に到るを得たり。
 りして、航程一時内外に過然も長江沿岸徒歩の如きは、苦中
 りし也。
 大江山中に屹立する小艦に、さるを得ず。此日空澄み、氣絶か
 嚴行を肯とし、樹木、千艘に、理想的の小舟大氣也。江岸に倚

大正七年一月元日京

城日新聞附録

とし、宛も我が江の島に於て、
に小也。而して其の北側に、
に二箇の危嶮、水底より、
之を松雲山と名け。此處小波、
如く、大波、大波、大波、
、所謂阿波の浪門也。
、廻轉、は、
、は、
に、仙坡に入るの處あらし
て小徑を行けば、江村生活の實
大、眼に眼に在り。于是計を案じ
て、往歩し、殆んど身の鎗山に達
するを恐むざりし也。
魚山筭凡挿江流、老木危嶮坡
、閑好事何人銘鵲鶴、華陽眞逸
亦千秋。
華陽眞逸とは、何人なる乎。
于古の疑案也。或は王羲之と云ひ

鮮滿便覽

◆ 本報正印紙大を漏さず一見
多量の鮮明なる寫眞版を挿
◆ 鮮滿の事情を知らんと欲す
と欲する人には特に一時も
◆ 月極讀者に限り無代進呈す
◆ 郵在をなすが故に其廣告の
證する處也購讀希望者廣告

無薄の種圖たるが上に
 入し錦土更に花を添ゆ
 人鮮滿旅行なさん
 成つべからざる必要書
 本誌は十二萬部の印刷
 有効なる事は本社を保
 紙讀者は速に申込べし

相見は隣つが上居女は
 一々たらふやんは女に嫁て
 ましたよ、はい、はい、嫁
 やうに女あに嫁女、嫁
 に色をして見せたらからつて
 女は嫁に嫁に嫁に嫁に嫁
 けはなりましたんからね、
 是では出来ません、色々な
 女は嫁に嫁に嫁に嫁に嫁

是は先づ焦山名物の、療養銘の
 其他を購ひ、焦山の本堂だ
 石壁に抵り、隈なく見物し、
 有縫を踏み、鎮江灣を過ぎ、
 の吸江樓に至る。吸江樓は古
 正亭也。
 亭の階上の欄干に倚れば、長
 望は、北固山上より望むに
 或は関隘と云ひ、或は顧況と云
 ふ、然も華嚴遠の名を以て傳へ、
 等々に殊特なは、大寺の標幟也。
 大正六年一月十二日、午前九時半、
 將肥料男婦二人にて、
上海雜信
 上海は昨日より颶風季節始まり、
 各館新聞に午後、若しくは全休の
 奏也。戦時中とは申しながら、其

要するに能く異途出會の線よりすれば周代の増舊に細形あるを操り返したるものか。上海は離かにして他に方壺形其他の例年より寒氣早しと云ふ人あるを存せしが如し、而して其操機北方より來れる子は、實に其最も容易にして且自然に氣は氣候の溫和を快幸しつゝあり。撤ならず可し、去れば先史に族は

部調査員編纂

更らに其の脈絡弁然、手に
 が如く、明瞭ならしむ。約言
 は、北固山は金山寺に優り
 は北固山に優る。而して、三
 個の悵ある、亦た誦ふ可ら
 ず。
 天一覽金山寺。多景樓頭眼界
 の欲識長江眞面目。吸江亭上
 の景氣尙は認く可し。而して此の
 駭野には、安那人の恣加、加入を
 容さず。單に此地のみならず、漢
 口の競馬俱樂部も亦た然り。上海
 公園も亦た然り。門戸開放、機智
 等、四兄弟、同胞主義の本均家
 本元たる、白首男の作爲として
 亦た一興なしとせざる也。
 上海の發展は、十二年前に比して

朝鮮古墳の變遷

大正六年十二月二十日午前六時

(七) 墳臺の系統

(十) 八木契三郎

右を模せしならんが爲に安布
置族は初めより土中に墳を造る
あり。或は石を築き地中に埋
造り、或は石を置て其上に板石片
置ね、或は磐石を加へし形あり
此地土衆は實に鮮満丹日本共通
風なれば内部の構造は之を東海
と稱するも不可ならんか又曰
古墳の外形には圓形あり、鏡子

の風をををの
御魚有零片
數聲呼女白雲煙
與追遊入睡鄉

評曰氣味清虛，不近塵囂。

布施生譯

早いですが、悪夢子さんの
が真正に分ると何より事件
が描けますからな。各谷は香
る能を認めて、ですから中
ちやございせんか、あの年
年ばかり前に服はれ口を探
りましたのでございます、お
嬢だ。思ひましたから早急
れましてそれから以來つづて

一覽は、前に記したる如く、帝の金山寺の勝景に題したる多景樓は北固山上にあり、劉劭が「景於多處最多愁」の句を下す。

下、枕江閣にて、精選料理を、盤上の石花菜は、我が拙著の『海味珍味』に於て、恒に用ふる物に同

所分室明也。予等は小港より其の河港を上り、造船所、貯炭所、製造所等の櫛比して、潮天下流の河岸に膨脹しつゝあるを見、快心の情に禁へず。但だ戦争の爲めに紡績會社の形骸丈が出て來りて、其の器械を振刷うる能はず。空屋の儘に立ち、獨逸汽船が民國さ

精聚されるに依り、予は試みに
を酌ふ可し。
濃潤間に現在せる先史時代の古
器を發見せしものは多く覆土を失へ
ば、其形を知る可からずと
偶々覆土の存する類より推考
すれば、凡て圓形なりしが如し、所
に、
は移の變化にして、初めは青な
瑣に眼にして、又内部の
瑣に瑣の由來は自から存せし
らんが、彼の石櫛櫛を造りし
矢張り支那の瑣盤に出たる可
し。
巴に於て支那に採れりとすれ
ば、其形を知る可からずと
偶々覆土の存する類より推考
すれば、凡て圓形なりしが如し、所
に、
は移の變化にして、初めは青な
瑣に眼にして、又内部の
瑣に瑣の由來は自から存せし
らんが、彼の石櫛櫛を造りし
矢張り支那の瑣盤に出たる可
し。

飯は谷女の言葉の辻褄の合はな
 いのも不氣で聞脱して「はあ、
 ぢやあ何で来て、棄てて置いて
 獨で歸て来る」と云ふわけですね
 「聞れるものなら歸つて参りませ
 うよ」そう仰る程奥よりさん
 は御當家に満足してゐたのです
 か。「ね、當家が好いて居りまし
 てゐた。
 に勤めて居りました、それで
 「はあそれぢやあ歸し下さ
 いますか」探偵長は聲を急
 た、谷女に少し色を失つて
 する所を探偵長は覺悟して
 歸し下さらないと云
 ても何とぞ仕儀があるまいか
 ひますが」探偵長は此時既に
 てゐた。

大 京日 小 材料 多 鮮 満 欲 月 極 證 有 京

正七年一月元日京城日報附錄

鮮滿便覽は四六倍版百餘頁の要本美麗品尙な
冊子にて世間普通の案内書等の如き比に非ず
正確細大を漏さず一見鮮滿の縮圖たるが上に
の鮮明なる寫眞版を挿入し路上更に花を添ゆ
の事情を知らんと欲する人鮮滿旅行をなさん
する人には特に一時も放つべからざる必要書
讀者に限り無代進呈す本誌は十二萬部の印刷
をなすが故に其廣告の有効なる事は本社を保
る處也購讀希望者廣告依頼者は速に申込べし

城日報編輯局地方部調査編纂

(十) 八木獎三郎

造り或は石を置て其上に復石片を
累ね或は土を加へし形あり。

阪は谷女の言葉の

年ばかり前に腰はれ口を探
 りましたのでございます、
 の娘だ、思ひましたから早速
 れましてそれから以來、かつ
 に勤めて居りました、それで
 「は、あ、それぢや」と話した
 下さうな顔をして居ました

植物には

三越の御前券は東京大坂大連京城の本支店共通にして三越販賣の御品とても御引換申べく御手輕にして至つて御車寶壹圓以上體裁より箱入として御進仕候。

10. *Journal of the American Medical Association*, 1997; 277: 1025-1030.

卷之十一
修
余一
和時
一
六
十二
十二
附
從
凡
一
四
十
四

（新）大附録「二六」動物世界見物 ③ 全圖書 電話 三〇五

民國二十六年

家庭之幸福

品は弊店の店頭には
治明城
喜砲
電話一八

正二月虎（毎月）（元假二十五錢）
▲漢書科 一頁金七圓

日本朝鮮及獨逸に於ける
皮膚病の調査報告書
（昭和五年五月）
衛生部
皮膚科
検査及傳染病預防治療材料製造
に關する調査報告書
（昭和五年五月）
衛生部
皮膚科

朝鮮の燃料問題（其二）

最近の法律思潮 (承前完)
東京帝國大學法科大學教授松野英一

1990年12月15日

(一) 會議に提出された米國
西側協定案は満篇一致承認さ
たり

（一）第二封鎖部 本部は次に
占領地方に對する食糧補給方
を確實に講究したり而して自
義及び北滿傳聞西に關する食

大衆會議の裏面の消息を聞くことと云ふは表面の標榜に過ぎず、その魂膽に出て其の實行

結に反對して政治問題とする車
起川の衆にして之を取り下げる
車の二手段を以て「土内閣」
には進歩系と交通系と
氏に勧告して「總長
内閣の不信任を聲明

萬二三千の兵力を有する元湖
部下を召集し獨立を宣せしむ
如し〔模口時電〕

張懷芝之徐

露休戰
○露休戰
露國軍上の困難に達著し、
員に於て條約の進行中、軍事行
す可き意圖を有せしに拘らず、

て詰るにありたり（哈爾濱電報）

休戦協定

表して曰く廿二日間の休戦の工

一、航空機は自己の
 飛行す可からず
 二、一個師團又は其
 以前に出てし命令
 得ず

露國會議院
 憲法


同治庚午年

て危急に瀕せる
三國沖に避難し

物價騰貴して經濟界は非常なる逼迫を來したる爲めに上は諸國、下は西比利亞に露都過激派政府の權勢を脱し遂に自治宣言を爲す其理由は過激派の跋扈以來諸外國との交通全く杜

方過激派の横暴は露國をして滅亡に導かし
 のなりと云ふにあり而してトムスク市にて各人種
 集の自治自給の計を立てる爲め十二月中旬
 八會を開催す可くとムスク國政會長の名を以て各地方
 したり（ハル濱電報）

國民常務總理其他を招きて大正七
年度算の内容を説明せしが、更に
來二十日、貴衆兩院各派代表者
永田町有田官邸に招きて午前貴族
院、後衆議院に於ち正式に算算内
容と引渡し、更に今日午後、主


元山守備隊

會を開く事に内定したり (東電)
 山守備隊は十六日午後三時出發
 事に決定せり (元山特電)

總稅務司北上

北京總稅
 司アグレン氏一行は十一日朝京
 政府及び日本銀行の所有に係

國以上の正貨を同地より我國
 送したる結果春來の我が在米
 は五十萬圓を出でざりしと云
 月米國が金の輸出を禁止し我

の現送不能となりたるが爲め
 の在米正貨は近來著しく増

年計に對しては甚だ往々財政
當局として其の長期に失せりこの
の之れに關し陸軍當局の説聞
所によれば陸車の服役年限が
(三)第三十一年四月十四日
(四)第四十年四月十四日

有分は悉く銀行預金となり居る
省、祭に放置され得るも該省
の一部米國英國及び佛國等の
在正貨中日本銀行に屬する

政府及日本銀行の所有に

體後十箇年、都合通算して十七箇西曆月に左れる關係上、新規に編成の計畫を完成せんが爲めに、是非とも曆年にして十八箇年の民を要す。現に前議會を通過した山鹿區編制改正若くは步兵聯隊區編制改正等、苟くも兵員の増加する一方なるを以て、單にの運用上より見るも正貨と雖も、置くは得難ならざる可

尤も新設部隊所要の土地建物朝鮮刑務令中改正の件十二月九日農務服並に職用品等は財政の計限短年月間に充てん充實せしむる必要あり今回の所請十八箇年

米海軍募

運に於ても、平均一月は四萬圓の如き大體を完結する計數には從つて右六箇年間の支出額は比較的多額に上れるも、兩三箇年は單に増加後接役兵節制呼吸及び教育召出に要する費のみなれば其年割は僅少に過ぎずと東京

度報告に於て
明年年度豫算會の進行に連れて追加豫算案の日以降上の海軍擴張實行を望み

▲海軍下士卒 一萬
▲豫備士卒 數百名より
費 八百萬弗より六千萬萬圓

航空より船の安全な石航路

數補填の爲め後
たりし鎌倉丸二
に命令船として

行き滞貨二萬噸を超えたりと云ふ
 各港の堆積 是末に甚し
 高野店長釜山行 三井物
 支店長高野省三氏は十二日

竹之を至極に、其色なきため當然、昔ノ時四十分宛外車にて、錦山に
別其の出題よりは激増せざる可らざる
其に事實懸想釋然しからざるは如
何なるを、山に於てよく右に付子等、
其の調査とせしによれば、昨晩の落、
に弱たる骨士が本夜は船艀及び、後一時半迄に立寄り、十二日午前
に其の船艀を傍遊し、着て、八時入京の事に違ふせり

値なり例せば生絲の姫家の姫さ
味の姫さ然らず恥して本價は昨年の
濱の約五割方上値にあり方々船積規章
の如きも昨年は二倍を實現して
所々に事なると本價は一割にして
刀を攘り初めたのも久しい事で素
多人も多くなつたが新造中に
最も人を驚かして居るのは越後省
の電氣局長長後氏である▲氏の古
古刀鐙を愛玩

所蔵の穀類は、
 僅ち居る。
 販運するなり故に農民は其の持米を
 賣意が特殊に生産當時二十圓を
 得て居る。
 ▲米價の前途に強氣を持
 つしある故なる如し、去年、年、年、
 米の内地行きは二月末を以て盛時
 を終るを常とするも本年は三月、或
 は四月まで及ぶものと觀るを、安當
 とすべし。
 鮮銀券發行高 十二月二
 日より八日に至る一週間の鮮銀券
 發行高は六千五百八十萬二千
 九拜したものであつた。▲東京、横濱

後三時四十分大田歸著、一泊十日午後客時三十分發、鮎に向ける。

海軍副官ニ
ルズ氏は例年
氏は多年牧師の職十有年、
の事、
は多年の間、酒を供へて正直に
祭をした。鹿々々しさを悔しがる
氏は偽物ばかりを撰んだのを忌々

々擴張

として十億弗を要求し尙請
 要あらんと説明し更に本年一月十七
 日
 千五百名より三十二萬二千名に増加
 四千九百名に増員▲例月經常
 増加▲服役軍艦 三百隻より
 少くしてたまたまなかつた▲然レ氏の
 感心なものは此處で正式に鑑定學
 を成さぬ罪であると大に悟たので
 即ち節を折て本阿彌光蓮氏の門に
 入り休目毎に運ふたが數年、大
 覺悟をしたので今では新進中では
 屈指の目利となられた▲以來氏は

新しき読み

十の三日下見
十一日開札

歐洲戰亂の爲め船腹不足に付此際至急御用命の程差

愈々いでたり！
京成竹添町
セイルフレザ
支配人 ダブリュ・

歩進の経済的文房具
 常使用のペン先に金製の
 特殊創案の鉄入物により
 金製の鉄入物により

發賣元
京橋大平通一丁目
 振替京城三〇〇番
 京城日報社
電話六六〇番

平曜	仁川	開城	京龍	日本
第三種煉炭	第二種煉炭	第一種煉炭	第一種煉炭	第一種煉炭
三ツ穴	三ツ穴	三ツ穴	三ツ穴	三ツ穴
八・二九	九・三〇	九・三〇	九・三〇	九・三〇
二・二五	二・二五	二・二五	二・二五	二・二五
四・九〇	五・七〇	六・四〇	七・一〇	八・〇〇
六・〇〇	六・八〇	七・五〇	八・二〇	九・〇〇

（貨車賣）
 一丁四割四
 五割八以下

鍋浦	第三種煉炭	三ツ六	九	一四	一五	六二
大邱	第二種煉炭	三ツ六	四	二七	一五	六八
元山	第一種煉炭	三ツ六	三	九七	四五	七〇
			二	六三	四	六二
					五〇	七

○小口扱及箱賣は持込み値段より數量は御改め御受取

○目下品不足に付き多量御注文には應じ兼ね

各石炭炭礦の結果獨り破格低廉なる煉炭の發行飛ぶ如く品物並廉に乘

二 手 販 賣
三井物産株式
（電話二六・七二四）
京 城 古 市 町 一 四

開城以南特約店
平 價 鎮 南 浦
中 村
（平壤電話五〇一番鎮南浦電
（電話五

交り十徳姿の

には玄人道具屋
末松謙澄子大倉

望在候

會社

壹圓九拾五銭
ものを使
ホスベン
て金ペン
の使

代理部
三六番橋内十八番

城	米地	商店	川	井物産會社	村組
---	----	----	---	-------	----

付組
 夕尻商店
 田商會
 被下茂候
 動もすれは

曾社
二一九二

店番組
（七〇一）

1000

年未滿し來つた秘佛界の爲更に
 爲さんとするの資に充てんが爲さ
 かくて雪月文珠三幅對金剛者色の
 新事談を呼び午後二時前後には
 初日の八日は世話人側にて奈阿
 も見受られ所獲者に對しての同
 と危ぶまれしにと拘らさ二百餘名
 と新しい試みに手頃の品々は
 入札があつた

[illegible]

斷り一生の不覺を招き、
 たんせき ぜんそく 専門薬
 恩給年金立替
 長谷川町百五番地電話二〇五
 三年分迄無保険 電話三九一
 京成若草町 國工商會

龍角散

りうかくさん

銃砲火藥獵具
京師明治町瀧川銃砲店
電話三〇二
支店 太田 公州
恩給年金長期
修利即金立替
三年分先取金
京師若草町百六
電話三〇二
支店及廣中飯

數年たん咳ぜん息

に二週つゝある人は先づ
龍角散二匣を試みよ其
非凡な効を認められます

高木旅行用具店
京坂本町一丁目電話三四四
恩給年金利息即時
支拂三年分迄無保険
京坂南大門外山口屋
(廣銀社用) 電二六八八番

社員入用
詳文部營業部長及組員至急入用

香味爽かにて服ふやすく。薬嫌ひの人、小兒の
 たんせきにも適當し少量づゝて効果著し。服
 用後スグに痰を切り咳を鎮め息切れを止む。
 龍角散りゅうかくさんで 傳効ある 病名びやうめい
 有し外國醫法心得ある人、保證士に確
 招人招喚當機帶本國來訪あれども
 本町二の一内國郵便朝野支前
 店員入用 年輪廿五歲前
 保證人を要す希望者は來説あれ
 京成永樂町三丁目 德田商會

父岩佐定 一僱
陳前病氣の處今十一日
陣亡國田四時三十分
町園出房四郎宅に於て死
告亡國田生前縣知諸君へ謹
告也
道後送葬の儀は十二日
午後四時釜山に於て執

女マ
川島英次
永田房四郎
弟威代
總代理
園田軍一
庵原

サ
次
次
郎

たんせんせき
ぜんそくの

印刷インキ製造
東京 二明治二
電話 二一三
振替 京城 二一三
櫻井商店

京日案内

普通一圓附金 香外一圓附金 二圓附金

[illegible]

斷から一生の不覺を招き、さらば輕症うちに
たんぜき ぜんそく 専門藥
最も有名良藥、龍角散の服用が最大急務です

りう かく さん
龍角散

長谷川町百五番地 電話二〇五
恩給年金立替 五年
三分迄無課税 電話三九一
京城若草町 國江商會
金光教會裏手

銚砲火藥獵具
京橋明治町 瀧川銚砲店
電話三〇三 支店 太田 公州

恩給年金長期 最低
三年分迄無課税 立替 手数料
京城若草町 西村商會
電話三〇三 壹番
荒尾法政及廣中 販賣

京橋本町一丁目 電話三三四番
 高木旅行用品店
 恩給年金利息即時
 支特三年分迄無利息
 京橋南大門外 山口屋
 (廣南社用) 電二六八番

龍角散で
ある病名

▲たんに常に「ホン」く「瀧」む人
▲せんぞく「せ」より「最」速する人
▲せき「癆」に出で夜半より「眠」れぬ人
▲流行「疫」より「起」る「たん」せきの人
▲胸病にて常に力なき「せき」出る人
▲たんに鼻血を帯び「咳」むる人
▲百日せき又ははしか「せき」の小兒
▲「せき」のかれ又「喉」のいたむ人

父君佐定一 儀

豫れて病氣の處今十一日
午前四時三十分登山并天
亡國田房四郎宅に於て死
亡候間生前願知諸君へ禮
告也
追而送葬の儀は十二日
午後四時登山に於て執
行仕候
大正六年十二月十一日

保登人を要す希望する市内に確實な
京城永樂町三丁目二番地徳田商會
電話三三三番

定二日分 二十銭 二週分 三十銭 一ヶ月分 五十銭
 四月分 一圓 一年分 三圓 郵料 一銭
 全額はあり 東京市 豊島区 目黒三丁目

弟 威代 友友 人友
 永川 島田 原一
 庵園 房四 軍一
 次次 次次 次次

師を清かにし、髪を梳く

日切に切

[illegible]

公も武士と生れ、早怯兒を婿に

一家中の批評、朋輩の惡口、聞くにも聞きかね、お主の骨の有無しを見届けに参つたのもや、有るならは出して見せ、之は傳來の一疋を持ち参つた、お主の太刀と打て合ふてき、男の膽が火を散るか、乃至はばきつと折れ砕けるか、打つ合はせて見やうと折れ砕けるか、乃公の爲めには最愛な娘の婿、忠臣者の名を取らせたくは思はねが、武士の骨に彫製が入つては平等の付き合ひり難い、一家一門の恥辱しかと骨を見附ける、さ、庭へ出て立ち合へ、それと二三言とは無く乃公に首を授けるか」と露にかいつて言ひ盡る

「さては家中で、左様な取沙汰を致す段ではない、恐らく前後お主を腹に置く物はあるまいで、乃公の間に、助左衛門は就ち羽手

● 月夜に來て 朝

思ふものやうなことをしてゐる。さういふことでは、
 中に居てゐるはずは候が――
 中へ入つて行つたかと思ふと手をとられて
 先生を導くやうに園へ案内する。
 君も思ひつかれたらあつてその用事は
 はつきりかならずだ。
 ○湖東生
 用事とは代官の密書の如きものであれ
 ばあること。
 「鶴林河人會第十八回録庫」

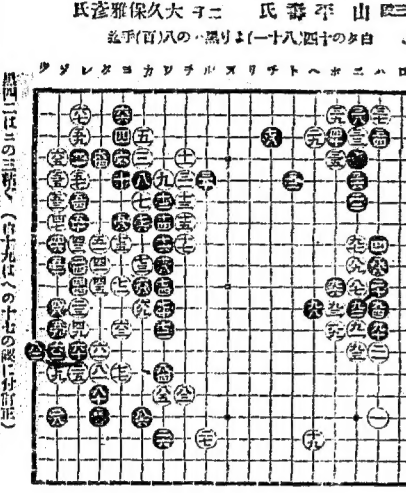
松川

底の衣は
 襷袢きざせうて、袂ひするから人へ透かしてでも
 障眼の時雨かな
 ▲上座一義(増巻)也これもつゝあつて降ろす
 山茶花の花よりしける我佛の陸とびしくもか
 雨ぬが
 古武貞也
 無常無常問あらず申々ののみいそよよ
 の時味かな

▲腰友(二) 五穀真草本所三十五十得
 ▲ローマジ(二) 十の東京御印版
 聖阿(二) 七の東京御印版
 ▲黄葉法律(二) 七の東京御印版
 五五五
 ▲婦人過經(二)の四八 四國五原東京
 共谷谷田町の一五七社
 寄流本願寺 傍所内其社
 ▲小僧(二) 五粒京部乃克雄七條上る
 寄流本願寺 傍所内其社

十一

番局
五の



仁丹

歳暮は

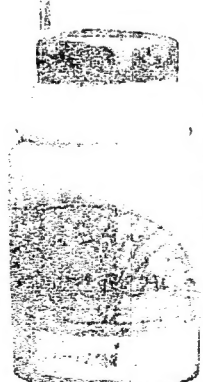
仁丹が一等

仁丹
（一）株（世）

100



びかん
大南
クリーム
お家の
ご様子
の
お勧め
により
よく
発売
仕候
はつぱ
つかまつり
を
あ



桃谷順天館

[illegible][illegible]